

# ハザードレポート (CWS2020) 作成者 ( 相原延光 )

このコロナ禍、貴方のお住まいの場所(家)で、自然災害に遭遇した時、最も脅威となりそうな事象はどのような事象ですか。その災害名と事象、貴方が考えられる対応策を記述下さい。対応策が思い浮かばない場合があります。複数ある場合、危険度の高い順に列記下さい。1件1葉です。

ハザード(危険を及ぼす可能性のある潜在的要因・状態)

想定される事象名	コロナ禍+ (コンクリートブロックと擁壁の倒壊)	作成日 20200802
事象の起こる場所	<u>自宅は標高53mの台地斜面の分譲地</u> 。その自宅周辺の道路沿い	20200802
何を脅威と感じるのか	通行人にとって、高いところに擁壁があり、30年経過。擁壁のひび割れ多数、そのうえにブロックを積んでいる家屋を建てているが、突然の地震により崩壊する可能性があるかもしれない。通行人にとっては心配かもしれない。←以下の記述でそのための注意と対処工事はしているが、周囲から見ると不安かも？	20200802
危険を被る対象(人・モノ)	通行人	20200802
ハザードの分類	被害の度合い <u>大・中・小</u> 発生の可能性 <u>大・中・小</u>	20200802
ハザードの概要	<p>藤沢市役所計画建築部建築指導課から、下記の確認依頼書がきている。チラシの内容を以下に書きます。→藤沢市役所からのお知らせです。あなたの塀は大丈夫？①まずは点検しましょう②専門家に相談しましょう③安全対策をしましょう。ブロック塀は私的財産。所有者の責任における管理が必要。※裏面で説明</p> <p>裏面記載内容①点検チェック②専門家相談連絡先③危険性があったら歩行者への注意表示と塀の撤去や補修を行うように、補助制度の活用藤沢市防災政策課←</p> <p>→添付紙文面「市民の皆様へ 2018年6月に発災した大阪北部地震でブロック塀が倒壊し通学中の児童がなくなった事故を受け、民有地の中にある道路に面したブロック塀等について、塀の高さや健全性についての調査を市内全域で行っている。この調査の結果、安全確認の必要性が認められた塀についての安全確認をお願いするためにチラシの投函を行った。最近では地震だけでなく台風でも塀が倒れた事例がある。万が一、地震や台風等で塀が倒れると危険であるだけでなく避難するときの障害にもなる」←</p> <p>さらに、印刷されていない面に赤字で追記されている内容は「コンクリートブロックの安全性と下の擁壁と鉄筋で緊結されているか確認をお願いします。」←チラシ配布チェック番号有り</p>	20200802
対応策	すでに床下、小屋根湿気結露対策、屋根雨漏り防止、道路沿い擁壁=30年経過のヒビ補修工事済、ブロック塀は鉄筋入り安全に行っている。擁壁とブロックの連携は必要か疑問？	20200802

# ハザードレポート (CWS2020) 作成者 ( 泉 耕二 )

このコロナ禍、貴方のお住まいの場所(家)で、自然災害に遭遇した時、最も脅威となりそうな事象はどのような事象ですか。その災害名と事象、貴方が考えられる対応策を記述下さい。対応策が思い浮かばない場合があります。複数ある場合、危険度の高い順に列記下さい。1件1葉です。

ハザード(危険を及ぼす可能性のある潜在的要因・状態)

想定される 事象名	コロナ禍＋  猛烈風台風の襲来；50～60m/秒の強風と雨	作成日 2020/ 8/1
事象の起こる 場所	自宅：横浜市青葉区の高台、丘陵地で南西側が開口	
何を脅威と感 じるのか	強風：家屋の破壊に伴う行動・対応策が無い事	
危険を被る 対象(人・モノ)	家屋の破壊と、それに伴う人的被害	
ハザードの 分類	被害の度合い(大・中・小) 発生の可能性(大・中・小)  (大) (中)	
ハザードの 概要	数年前の台風襲来時、風速 30m/秒程度であったにも関わらず、2階屋は揺れを感じた。瓦が飛ぶような心配もした。豪雨の中、「瓦が飛んだ、屋根がはがれた」という状況に立たされたら、どのように動くのか。襲来時間帯と台風一過後の生活。周辺の家屋は高齢者ばかりの住宅街。どのように対応するかも検討必要。	
対応策	(検討中) 自宅と周辺住宅の両方の検討が必要  * 風速計設置は役立つか？  * 避難するのか、何処に、籠るのか、何処に  * 事前の対策は何があるか  * 台風一過後の準備は何が必要か(暫定の修復)	

# ハザードレポート (CWS2020) 作成者 ( 鬼鞍 )

想定される 事象名	コロナ禍＋ 大雨による増水、水害発生	作成日 2020.8.4
事象の起こる場 所	自宅：大田区の国分寺崖線近傍、多摩川に支流の丸子川が 接続する地域	
何を脅威と感じ るのか	冠水：①多摩川堤防の決壊による水害 ②多摩川の水位上昇による支流からの流入を制限？ 支流が氾濫し被害発生 ③住民活動により、堤防の整備が出来ていない部分が存在 ④避難所の態勢が未整備	
危険を被る 対象（人・モノ）	家屋の破損、流出、人的被害	
ハザードの 分類	被害の度合い（大・中・小） 発生の可能性（大・中・小） 大 中	
ハザードの 概要	<p>昨年 10 月、台風来襲時、多くの河川が氾濫した。 多摩川も氾濫の恐れが生じ、緊急避難令が出る。 避難場所として、1.5km 離れた田園調布小学校が指定され、息子家族 は、先に避難。私は様子を見ながら、最悪は車で脱出を想定。 夕刻、息子より電話で、避難所は大混雑で私が行ってももう 受け入れられないようだ、との連絡。さらに遠い中学校に回されるら しいとの情報。 さらに 20 時過ぎに、劣悪な避難所の環境で過ごすのは、もう 耐えられないと、息子家族は帰宅して来る 丸子川の水位が上がり、家の川向うの平地（旧多摩川河川敷）が浸水 24 時ごろ東京消防庁が家横にテントを設営、ゴムボートで平地の 住人の救出を開始。報道機関も集まり、灯りが煌々と。 家の周りは消防車と救急車で埋まっており自家用車での脱出は 困難と判断。肚を括って自宅の PC で水位の変化を監視継続。 その後、多摩川、丸子川共に落ち着きを見せたのを確認し就寝</p>	
対応策	<p>避難所の収容可能人数と周辺住民数の最適化、設計が無い？ さらにコロナ下での 3 密を配慮した再配分が必要に 避難所の拡充：自宅のすぐ傍には雙葉小学校があるが、、、？ 個人住宅が多い地域での行政区分、管理区分を超えた対応が。 最悪時を想定した究極の選択はあるのか？その判断基準は？ 多摩川決壊を最悪とするなら、川崎側、東京側どちらを守る？ 本流（多摩川）対支流（丸子川）なら本流を優先？ 住環境優先とし、堤防設置に反対していた人たちとの折合い 結論的には、まずは、現状、不十分な水害対策を充実させ、さらにコ ロナ要素への対応を付加して行くのが、現実的ではと思う</p>	

# ハザードレポート (CWS2020) 作成者 (千葉孝子)

このコロナ禍、貴方のお住まいの場所(家)で、自然災害に遭遇した時、最も脅威となりそうな事象はどのような事象ですか。その災害名と事象、貴方が考えられる対応策を記述下さい。対応策が思い浮かばない場合はあります。複数ある場合、危険度の高い順に列記下さい。1件1葉です。

ハザード(危険を及ぼす可能性のある潜在的要因・状態)

想定される 事象名	コロナ禍+ (河川の氾濫)	作成日 8月3日
事象の起こる 場所	境川流域	
何を脅威と感 じるのか	集中豪雨があった時に、川の側の自宅なので自宅の浸水の危険	
危険を被る 対象(人・モノ)	川の増水	
ハザードの 分類	被害の度合い (大) 発生の可能性 (大)	
ハザードの 概要	<p>この境川は 52 キロという長さながら、管理区域が上流から神奈川、東京、神奈川と管理が分断されていることから、抜本的な工事がされていません。</p> <p>10 キロほどの東京都管理区域を、あれこれいじっても、下流域の藤沢、大和、横浜の大規模な改修をしなければ、焼け石に水の対策ばかりです。</p> <p>これは一級河川なら、国土交通省がテコ入れ出来るのに、二級河川の為、神奈川はお金がないので、30年後しかできないと言って、東京都がほんの 10 キロの管理区域に調節池なるものを現在作っていますが、毎時 1 ミリの為だけで、70 分で満杯になるお粗末なものです。</p> <p>このように、県をまたいだ川は珍しく、統一した対策が取れないのがネックです。</p> <p>さて、洪水は心配で、おそらくこの境川では家が流されるようなものではなく、床上、床下浸水が心配されます。この 32 年間 1 度も被害はなかったのは、上流や下流が低くて、まずそちらから溢れるからなのです。</p> <p>けれど、昨今の降りかたは尋常ではなく、いつ我が家に被害が来るかは予測できません。</p> <p>災害対策として、食料の備蓄などせっせとしている日々です。</p>	
対応策		

# ハザードレポート (CWS2020) 作成者 ( 角田 宗夫 )

このコロナ禍、貴方のお住まいの場所(家)で、自然災害に遭遇した時、最も脅威となりそうな事象はどのような事象ですか。その災害名と事象、貴方が考えられる対応策を記述下さい。対応策が思い浮かばない場合があります。複数ある場合、危険度の高い順に列記下さい。1件1葉です。

ハザード(危険を及ぼす可能性のある潜在的要因・状態)

想定される 事象名	コロナ禍＋  竜巻やダウンバースト等の強風	作成日  2020/8/5
事象の起こる 場所	自宅：藤沢市北西部。旧相模川の海成段丘（台地）。	
何を脅威と感 じるのか	主屋の瓦や物置のトタン屋根、蔵などへの被害（農家です）。山林樹木が倒れ、電線を切断したり道路をふさいだりする恐れ、など。  （補）昨年の台風のとくに近隣住宅で屋根に被害がありましたが、オリンピック・パラリンピック需要での人手や資材の不足もあり、千葉でも大きな被害があったため、補修できたのは半年後でした。さらに詐欺も横行…私のところにも「屋根瓦が壊れている。すぐに補修が必要だ。登ってみてあげる」などという悪質業者がやってきました（事なきを得ましたが）。	
危険を被る 対象(人・モノ)	自宅建物（人的被害も）、樹木、駐車場と車など。	
ハザードの 分類	被害の度合い（大・中・小）発生の可能性（大・中・小）  （中） （小）	
ハザードの 概要	建物への被害。それが小さくとも、ライフラインの停止。	
対応策	私の住む地域は、河川から離れた台地にあるので、大雨による洪水、土砂崩れなどの被害の心配はほぼない。そのため防災に対する意識もあまり高くないように感じられます。学校や市民センターなどが一時避難所、避難施設となっていますが、自宅でも安全と思っている住民が圧倒的に多いと思われます。しかし、建物等の被害がなくとも、ライフラインが止まって自宅での生活が困難になるケースも考えられます（冷房できないための熱中症など）。  実際に、何らかの被害を被った場合に、どのような対応をとるか、各家庭だけではなく、地域全体としての備えをしっかりとっておかなければいけないと思っています。その中心となるのが地域防災組織や地域社協、自治連合会等、それに行政の地域担当であるが、それらの関係がうまく機能するかが気がかりです	

# ハザードレポート (CWS2020) 作成者 (林 陽生)

このコロナ禍、貴方のお住まいの場所(家)で、自然災害に遭遇した時、最も脅威となりそうな事象はどのような事象ですか。その災害名と事象、貴方が考えられる対応策を記述下さい。対応策が思い浮かばない場合はあります。複数ある場合、危険度の高い順に列記下さい。1件1葉です。

ハザード(危険を及ぼす可能性のある潜在的要因・状態)

想定される 事象名	コロナ禍＋(地震による津波)	作成日 8月5日
事象の起こる 場所	藤沢市片瀬海岸地区：慶長型地震(南海トラフ)では最大高の津波10.7mが72分後に、南南東地震(相模トラフ)では同じく9.8mが23分後に到達。南側は海、東・北側は境川に挟まれ、退避する方向が無いに等しい。	
何を脅威と感 じるのか	準備していても、短時間に安全な場所に避難することは驚異。一時避難場所として津波避難ビルが設定されている。ただし、非常に過密な状況が強られる。一人当たりの専有面積が極めて狭く車いすの使用などは困難。また、屋上避難に限られる場合が多い。被災3日以内に避難施設が設置され移動することになるが、現在の避難施設運営マニュアルでは、衛生班が防疫担当するが、すでに感染症の人を収容することは想定されていない。	
危険を被る 対象(人・モノ)	人命	
ハザードの 分類	被害の度合い (大) 中・小) 発生の可能性 (大) (中) 小)	
ハザードの 概要	避難ビルや避難施設での感染拡大：一時避難ビルの棟数(4階以上)は37棟、収容人数は2万人で屋上、廊下、階段スペースを利用。うち73%がオートロック仕様(非常時に開放、解放されていない場合は壊して侵入)。一人の専有面積は6m <sup>2</sup> を想定。	
対応策	<p>(1) 避難施設では問診票でチェックし、体育館だけでなく感染者隔離のために教室を利用する方針に転換中。避難施設では段ボールベッドや遮へいボードなどを備蓄品に加えるべき。</p> <p>(2) 最寄りの避難施設である湘南白百合小学校は3階建てのため10m級以上の津波は避けられない。根本対策なし。</p> <p>(3) 地区住民数より収容人数が多いが、緊急時には近くを選んで殺到すること、観光客・海水浴客の避難も想定しているため必ずしも収容人数は十分ではないと考えられる。</p> <p>(4) 要介護者・要支援者を安全に避難施設まで導く。日常的にどこにどのような人が生活しているか知っておく(情報として整理しておく)。</p> <p>(5) 短時間に一時避難場所へ移動することが必須。車いすの場合、坂道を上る場合は前から引っぱらないと困難で、ロープが必要になる。また、マスクや消毒液、投薬を受けていれば薬は携行品として必須。</p>	

# ハザードレポート（CWS2020） 作成者（小長谷）

このコロナ禍、貴方のお住まいの場所(家)で、自然災害に遭遇した時、最も脅威となりそうな事象はどのような事象ですか。その災害名と事象、貴方が考えられる対応策を記述下さい。対応策が思い浮かばない場合があります。複数ある場合、危険度の高い順に列記下さい。1件1葉です。

ハザード(危険を及ぼす可能性のある潜在的要因・状態)

想定される事象名	コロナ禍+（大震災；M6~7クラス）	作成日 2020/8/9
事象の起こる場所	東京都荒川区都心部	
何を脅威と感じるのか	地震によって発生する崩壊、停電、断水	
危険を被る対象(人・モノ)	家屋の損壊、人的被害、2次災害	
ハザードの分類	被害の度合い（大・中・小）発生の可能性（大・中・小） （大）×（小）	
ハザードの概要	被害が発生したときに、長期期間において集団で避難生活を強いられる可能性がある。その集団生活におけるコロナ感染のリスクが高まると考えられる。	
対応策	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自治体や家庭における安全衛生用品の備蓄（マスク、アルコール、ハンドソープ等）</li><li>● 事前のルール作り。従来の緊急時マニュアルの改訂。</li></ul>	